

ひとり一人が輝く 青少年
体験を通して育てよう
すべての人に対する思いやりの心

OTSUKACHIKUTAI

大

文京区青少年対策大塚地区委員会の活動方針

塚



大塚地区対の活動理念

Philosophy



- ① 家庭と社会をつなぐパイプを構築し、青少年と家族との「心と体」のふれあいを増進する。そして「勉強」「運動」「様々な体験」の意義を再認識させる。
- ② 青少年の豊かな感受性と表現力の育成を図る。
- ③ 青少年を見守る社会の連携を強化し、青少年を育む環境づくりを促す。
- ④ 「文の京」の地域文化を次世代へ伝承する。



「あいさつ・声かけ」運動への取り組み

Communication

「あいさつ・声かけ」を広げるために

人は生まれた時から家庭や地域社会の一員であり、人と人とのコミュニケーションがもっとも重要になります。なかでも、地域との関わりを持たない青少年に対する新たな対応が求められています。大塚地区委員会では、手本となる大人の規範意識の低下を見直すべく、「大人が変われば」の理念から、青少年の良い手本を示すため、すべての事業で「あいさつ・声かけ」を心がけています。



大塚地区対の主な事業

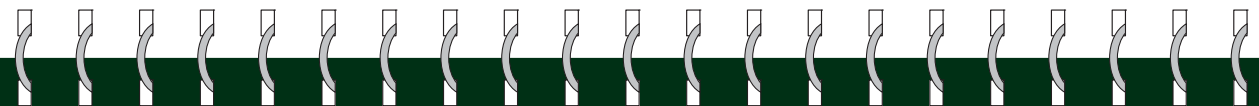
Activities&Experience



親子で参加 日帰りバスハイク

家庭の日啓発事業として、様々な体験を通して親子のふれあいを促す活動です。

SHIOHIGARI&BBQ 2010



ポスター作戦

環境浄化推進活動として、地域に対する啓発ポスターを募集し豊かな感受性と表現力の育成を図ります。



地区対(ちくたい)って何?

青少年対策地区委員会(通称:地区対「ちくたい」)は、町会、保護司会、民生委員・児童委員協議会、PTA、青少年委員会、体育指導委員会など、多くの関係者で構成されています。「家庭の日啓発事業」や「環境浄化推進事業」を実施するなど、地域における青少年健全育成施策の中心的役割を担っています。

What's CH-KU-TA-I?

大塚地区対の主な事業

Activities&Experience



東京水辺ラインめぐり

家庭の日啓発事業として、隅田川から東京湾にかけて普段体験できない水辺の環境を観ながら親子のふれあいを促します。



Ebisu
Daikokuten
Bishamonten
Benzaiten
Fukurokuju
Hotei
Jurojin

新春 小石川七福神めぐり

環境浄化推進活動として、地元小石川地区の七福神をめぐり、普段歩いている道をちょっと入るといろいろな新しい発見があること、また地域環境を理解し学びます。



合同行事

～地域の枠を越えて～

九地区合同行事「文の京こどもまつり」

「家庭の日」啓発事業として、毎年1回(11月第2日曜日)9つの地区が合同で「文の京こどもまつり」を実施しています。青少年対策地区委員会の一大イベントとして、また親子のふれあいの場として定着しています。

●機関誌「やんぐ」

青少年対策地区委員会の取り組みをより多くの方に知ってもらうための機関誌「やんぐ」を年2回発行しています。行事に参加した子どもたちや保護者の感想など、多くの人の声を取り入れています。

●「はじめての一步！(文京区青少年育成プラン)」とは

文京区青少年問題協議会では、青少年健全育成施策に関する行政や地域関係団体の行動指針となる「はじめての一步！(文京区青少年育成プラン)」を策定しました。青少年対策地区委員会では、本プランの趣旨に基づいた青少年健全育成施策の推進を図っています。

